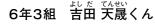






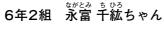
**左目** 光担当の町職員が6年生 の授業で町の特産品につ いての説明を7月6日に行いま した。初めて聞く内容に児童た ちは興味津々。毎週数時間かけ てパンフレットを制作し、1学期 中に完成させました。児童たち はふるさと学習をとおして誰に 何をどう伝えたいのか明確にし、 相手がより理解しやすい文章構 成・構図を考えることの重要性を 学びました。

## PRパンフレットを作成し感じたこと











低学年の児童に伝える ためにわかりやすい言葉 でリーフレットを作成し ました。読んでもらい、 もっと多くの人に町のこ とを知ってほしいです。



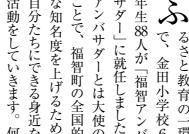
## 6年1組 丸山 夢珠ちゃん

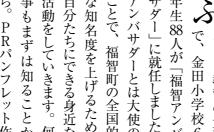


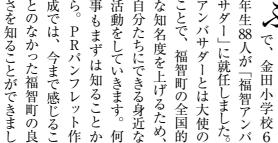
町外の人にも興味をもっ てもらえるようカラフル に紹介しました。苺が大 好きなので、町のおいし い農産物のことをみんな に教えていきたいです。



事もまずは知ることか 自分たちにできる身近な な知名度を上げるため、















すが、町に住みながら、さは離れてから実感しま



していきます。地元の良ランプリ」に投票し応援



ら始まる「ゆるきゃらグ





Sで町の情報を発信した

マスコッ

トキャラク

「福天」の知名度を



町のイベント

























↑ふるさと教育の授業で「福天」も サプライズ登場。下の写真などの特

産品について理解を深めました。





















金田小

ふるさと教育

る

さとを知る







アンバサダー (Ambassador)

は英語で「大使」の意味です。

カタカナ語では、「親善大使」 や「広報大使」などの意味で

使われています。



3

さとを応

援する

サ







